

《課題名を記入》 がん薬物療法レジメンの運用調査に関する研究

《対象を記入》 2016年4月～2021年4月の期間に、当院のレジメン審査委員会で審査したレジメン

研究協力をお願い

当科では「がん薬物療法レジメンの運用調査に関する研究」という研究を行います。この研究は、2021年4月までの期間に、当院で使用される化学療法レジメンについて、レジメン審査委員会で審査されたレジメンの審査体制や情報を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただく前に、この掲示などによるお知らせをもってご同意を頂いたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

(1) 研究の概要について

研究課題名：がん薬物療法レジメンの運用調査に関する研究

研究期間： 許可日(2015年11月24日)～2021年4月30日

実施責任者： 滋賀医科大学 臨床腫瘍学講座 醍醐弥太郎

(2) 研究の意義、目的について

最近のがん薬物療法の進歩は目覚ましく、分子標的治療薬などの抗がん剤や制吐剤などの支持療法の種類の増加、適応症の拡大により、複雑化し、選択肢が増加するとともに、治療を受ける患者数が増加し、治療期間が延長しています。このような状況で、患者に最適な治療を選択し、効果を最大限に引き出し、しかも安全に投与するには、一人の医師だけでは行えず、看護師、薬剤師など医療従事者と連携をとり、チーム医療として、がんの薬物療法を行う必要があります。当院では、15診療科で難治がんの治療と多数の臨床試験が行なわれ、複雑かつ最新の化学療法のレジメン管理がなされています。この研究により安全性と有効性が確保された化学療法の実施を目指しています。

(3) 研究の方法について

2016年4月～2021年4月までの期間に、レジメン審査委員会が審査したレジメンにつき、依頼診療科・疾患・審査の内容を解析し、定量的に運用例を示し、今後の課題とともに考察します。

(4) 予測される結果（利益・不利益）について

個人に利益・不利益が生じることはありません。

(5) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人情報を直接同定できる情報は使用されません。また、研究発表時にも個人情報は使用されません。

(6) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌およびデータベースなどで公表します。

(7) 問い合わせ等の連絡先

滋賀医科大学 臨床腫瘍学講座 高野 淳

住所：520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

電話番号： 077-548-3590 or 3591